

情報掲示板

温根内ビジターセンターの行事

4/9(日)	am10時~12時	早春の湿原ハイク(共催)
5/7(日)	am10時~12時	春の湿原ハイク
5/28(日)	am 9時~11時	湿原の夏鳥ウォッチング
6/4(日)	am10時~12時	春の湿原花ハイク
7/2(日)	am10時~12時	初夏の湿原花ハイク
7/23(日)	am10時~12時	トンボ・ザリガニウォッチング
7/26(水) ~7/30(日)	pm6時30分 ~8時	ホタルウィーク
8/6(日)	am10時~12時	夏の湿原花ハイク
9/10(日)	am10時~12時	初秋の湿原花ハイク

温根内ビジターセンター

☎(0154)65-2323 Eメール ovc@hokkai.or.jp

塘路湖エコミュージアムセンターの行事

4/29(土)	am10時~12時	みどりの日の探鳥会(共催)
5/13(土)	am10時~12時	皐月の鳥を見ながら歩人会
6/10(土)	am10時~12時	新緑の湿原探鳥会
7/22(土)	am10時~ pm2時	夏休み工作:縄文土器工房
8/5(土)	pm1時~3時	バードテーブルを作ろう
9/9(土)	am10時~ pm3時	親子で作る針穴写真機

塘路湖エコミュージアムセンター

☎(015)487-3003 Eメール emc@hokkai.or.jp

※(共催)は、環境省 釧路自然環境事務所との共催行事

自然ふれあい 湿原探検隊	4/9(日)	早春の湿原ハイク(共催) 場所/温根内木道 「湿原の春は水辺から」自然のなかで春の息吹を感じよう
	4/29(土)	みどりの日の探鳥会(共催) 場所/シラルト口湖サイクリングロード 春の歌声は南からやってきます。耳を澄ませ共に春を謳おう

お問い合わせ/釧路自然保護官事務所 ☎(0154)56-2345

ボランティアレンジャーの会 活動計画 (クリーンウォーク&ミニ観察会など)

4/8(土) 温根内VC駐車場周辺・木道	7/8(土) 湿原大橋周辺
5/13(土) 達古武キャンプ場周辺・遊歩道	8/12(土) 温根内VC駐車場周辺・木道
6/10(土) サルボ展望台周辺	9/9(土) コッタ口展望台周辺

釧路湿原 4x1/4ウォーク 5/21(日) 新釧路川右岸コース(21km) 8/20(日) キラコタン岬コース(23km)

お問い合わせ/釧路自然保護官事務所 ☎(0154)56-2345

各地のイベント情報

5月下旬	釧路町商工会桜まつり	会場/釧路町別保公園	☎(0154)36-2133	釧路町商工会
5月下旬	たんちょう舞ろーど清掃	場所/鶴見台~鶴居市街	☎(0154)64-2112	鶴居村役場振興観光課
6月上旬	標茶町産業まつり	会場/JAしべちや駐車場特設会場	☎(01548)5-2111	標茶町役場商工観光課
7月中旬頃	くしろ霧フェスティバル	会場/国際交流センター特設会場	☎(0154)42-1121	釧路青年会議所内実行委員会
7月30日	釧路湿原マラソン	会場/釧路市民陸上競技場他	☎(0154)31-2600	釧路市スポーツ課内実行委員会
8月27日	釧路湿原全国車いすマラソン大会	会場/釧路市民陸上競技場	☎(0154)24-7471	釧路市身体障害者福祉センター
8月下旬	釧路町産業まつり	会場/釧路町木場特設会場	☎(0154)62-2111	釧路町役場産業経済課
9月第一週	釧路大漁どんぱく	会場/国際交流センター他	☎(0154)31-1993	釧路観光協会
9月中旬	多和平カントリーフェスタ	会場/多和平展望台特設会場	☎(01548)5-2111	標茶町役場商工観光課
9月23日	鶴居村ふるさと祭	会場/鶴居運動広場	☎(0154)64-2114	鶴居村役場産業課

釧路湿原通信「ピート」へ御意見、御感想、情報をお寄せ下さい。

編集・発行/釧路湿原国立公園連絡協議会 季刊誌発行事務局 鶴居村温根内 温根内ビジターセンター内

TEL (0154) 65-2323 FAX (0154) 65-2185

ホームページアドレス <http://city.hokkai.or.jp/~kk946/>



釧路湿原通信

Peat

ピート No.18 2006.4

釧路湿原と縄文時代.....	2
釧路湿原の成り立ちと先史時代.....	3
施設紹介:史跡北斗遺跡展示館.....	3
情報掲示板.....	4

ミツガシワ咲く釧路湿原とタンチョウの親子

釧路湿原NEWS

国際ツルフォーラム、国際ツル作品展が開催されました!

平成18年3月18日(土)に釧路市観光国際交流センターにて、国際ツルフォーラム(釧路国際ウェットランドセンター等主催)が開催されました。ツル類の保護と教育・普及活動などについて、釧路地域での取組みのほか、ブータンや中国、韓国の専門家を招き、各国の事例や国際的なネットワークによる保全活動、日本からの国際協力の様子などが紹介されました。

フォーラムの会場では、国際ツル作品展が同時開催され、地域の方々から応募された400点ほどのツルを題材とした絵画や書道、工芸などが展示されました。また、ブータンの児童やイギリス、ロシアからの絵画、オーストラリアからのパッチワーク、韓国からの写真など海外からの多種多様な作品も展示されました。



今回、地域住民や海外から多くの作品が集まり、地域のツルや湿原への関心の高さをうかがい知ることができ、また、フォーラムや作品をご覧になった方々にとっても地域自然への更なる興味・関心を深めるきっかけになったことでしょう。

平成18年1月の北海道のタンチョウ一斉調査でその生息数が千羽を超えましたが、その数に安堵することなく、今後も引き続き、皆さんが普段できる事やそれぞれの行動を通して、身近な存在『タンチョウ』を守っていきましょう。